

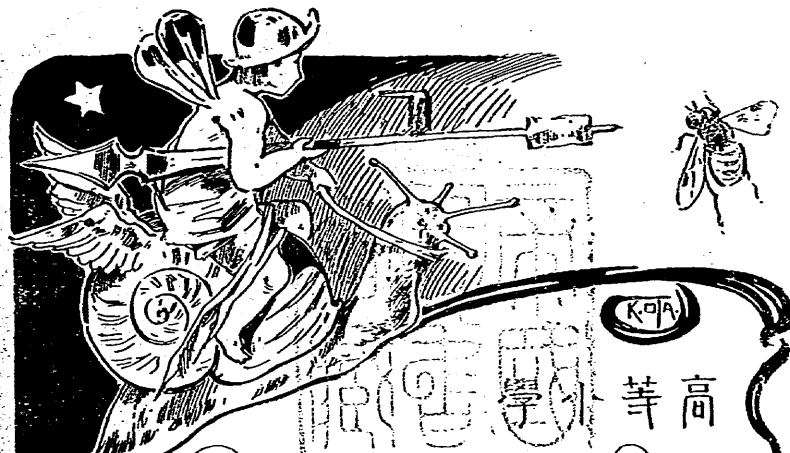


K120.73

40

K120.73  
40

新學社



高等

修身唱歌

第一編目次

ナイ	忍	フ	上	加	豊	北	君
イ		ラ	杉	藤	臣	白	
チ		ン	鷹	清	秀	川	
ン		ク	山	正	吉	宮	
ゲ		リ	公			能	
ール	耐	ン				久	
						親	
						王	恩

吉田信太郎編

修文館發行

明治 38 10 4

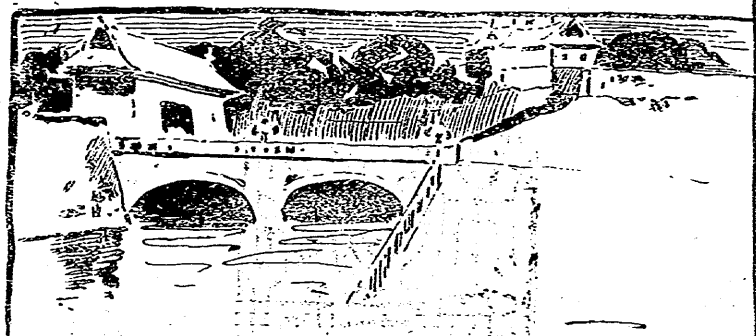
内交

はしがき

本書は初等教育修身科に關する唱歌の教材を供給せんが爲めに、文部省著作尋常小學修身書及高等小學修身中の事項に因みたるものを、尋常第一學年より高等第四學年に至る各學年に配當し、編を追ひて順次編纂し、以て小學校教科用書に充てんとするものなり。

明治三十八年九月

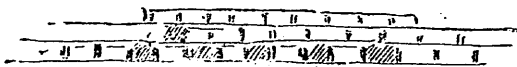
編者識



# 君 恩

桑田春風作歌

いくさ勝ちて威あがり、  
民さかえて、世やすし。  
かぎりしらぬ君がめぐみ、  
天も地もおよばじ。  
民の身をばいたはり、  
寒き夜半にきぬぬぐ。  
はかりしらぬ君がなさけ、  
うみもやまもいはじな。

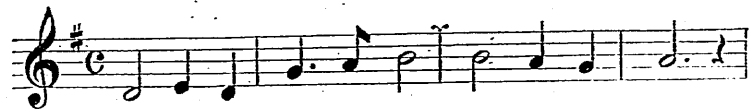


# 君 恩

調四分四拍子

重々シク

フーン氏作曲



5-6 5 | 1. 2 3- | 3-2 1 | 2-0 |

一、 イクサカサテ イアガリ

二、 たみのみをばいたはり



5-6 5 | 1. 2 3- | 2-1 7 | 1-0 |

タミサカエテ ヨヤスシ  
さむきよはにきぬぬぐ



4-4 4 | 4. 3 3- | 2-2 2 | 2. 1 1-

カギリシラス キミガメグミ  
はかりしらぬきみがなさけ



6-6 6 | 1. 1 1- | 2-1 7 | 1-0 ||

アメモツサモ オヨバシ  
うみもやまもいはじな

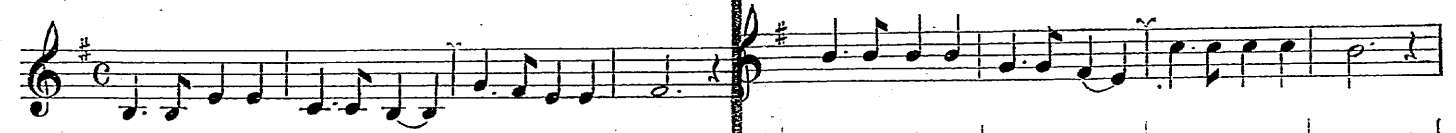
《北白川宮能久親王》

(つゝき)

は短調四分四拍子

感ヲ以テ

編者作曲



一、 3̣. 3̣ 6̣ 6̣ | 4̣. 4̣ 3̣ 3̣ | 1̣. 7̣ 6̣ 6̣ | 7̣- 0  
 メ イ ヲ ノ ニ ヲ ユ - ハ ナ ネン ヲ  
 二、 さ ら で も あ つ き - た い わ ん と -

3̣. 3̣ 3̣ 3̣ | 1̣. 1̣ 7̣ 6̣ | 4̣. 4̣ 4̣ 4̣ | 3̣- 0  
 キ ヲ シ ラ カ ハ ノ - ミ ヤ デン カ  
 や - と り た ま は ん と の も な く



一、 1̣. 1̣ 3̣ 3̣ | 4̣. 4̣ 3̣ 3̣ | 1̣. 6̣ 7̣ 7̣ | 3̣ 3̣- 0  
 タ イ ワ ン ト - ニ - タ テ コ モ ル  
 を り し も な つ の - は ひ め と て

6̣. 6̣ #5̣ #5̣ | 6̣. 6̣ 3̣ 3̣ | 4̣. 4̣ 2̣ 2̣ | 3̣- 0  
 イ ク サ ナ ス ス メ - タ マ ヒ ケ リ  
 き - こ す め す べ き も の も な し

三



一、 4̣. 4̣ 4̣ 4̣ | 3̣. 3̣ 3̣ 3̣ | 6̣. #5̣ 6̣ 7̣ | 1̣- 0  
 ツ - ク ナ タ ヒ ラ ゲ タ マ ハ ン ト  
 か せ な ま ぐ さ く - あ め し げ く

4̣. 4̣ 3̣ 3̣ | 1̣. 1̣ 7̣ 6̣ | 7̣. 7̣ 3̣ 3̣ | 6̣- 0  
 ト - キ ハ ゴ ガ ツ ノ ス エ ツ カ ヌ  
 お ん い た は し と は こ の こ と か

二

# 北白川宮能久親王

石原和三郎作歌

四

一 明治の二十八年よ。

臺灣島に たてこもる。

賊を平らげ たまはんと。

北白川の 宮殿下、

軍をすすめ たまひけり、

時は五月の 末つかた。

二 さらに暑き 臺灣島、

をりしも夏の はじめとて、

風なまぐさく 雨しげく、

やどりたまはん 殿もなく、

きこしめすべき 物もなし、

おんいたはしとは この事か。

三 宮はもとより おん氣象、

はきもなれざる わらぢがけ、

山坂 どもみちきらひなく、

將校士卒に さきだちて、

すすまるるうち はしなくも、

病に かかり たまひけり。

四 ほどなく病 いえたまひ、

なほ臺南の 賊どもを、

ただ一うちと 進まるる、

おん道すがら 又も又、

病におかされ 臺灣の、

野べの露とぞ 消えたまふ。



五 これども宮の みいさをに、

賊はほどなく 平ぎて、

御代おだやかに なりにけり。

臺灣神社に しづまりて、

北白川の すゑながく、

いさをはつきじ 萬代も、



五



# 豊臣秀吉

大和田建樹作歌

一 天下の亂を打ち沈め

身は關白と榮えたる

豊臣太閤秀吉も

はじめは木下藤吉郎

二 草履を取りて信長に

仕へし時もありけるが

その勤勉を見知られて

重くぞ登用せられける

# 豊臣秀吉

變ノ調四分四拍子

爽快

編者作曲

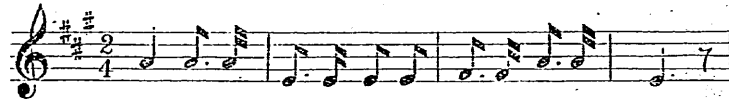
Musical score for Toyotomi Hideyoshi, featuring a treble clef, a key signature of one flat (B-flat), and a 4/4 time signature. The score consists of four staves of music with corresponding lyrics in Japanese. The lyrics are: テンカノランヲウチシズメ、ぞりをとりてのぶながに、ミハカンバクトサカエタル、つかへしときもありけるが、トヨトミクイコヒデヨシモ、そのさんべんをみしられて、ハシメハキノシタトキナロー、おもくぞとよーせられける

《加藤清正》

い調四分ノ二拍子

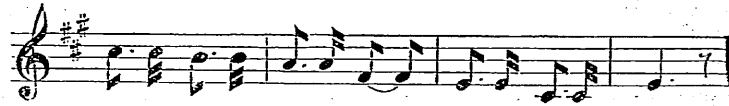
勇壯 =

編者作曲



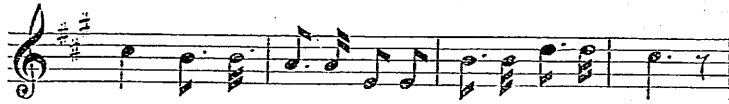
1 1. 1 5. 5 5 5 | 6. 6 1. 1 | 5. 0

一、イマモナダカキシツガクケ  
二、ちせんこくにせめいりて



3. 3 2. 2 | 1. 1 6. 6 | 5. 5 3. 3 | 5. 0

シナホンヤリノーダイイナニ  
とらをもひしぐーいきはひに



3 2. 2 | 1. 1 3. 3 | 2. 2 4. 4 | 3. 0

テキナツキフヒツキクツシ  
なもたくましきーきーヒーかん



5. 5 3. 3 | 1. 1 4. 4 | 3. 3 2. 2 | 1. 0

イキホヒダケキーオニカトー  
なくこもこ糸をーとどめたり

三 主君信長光秀に

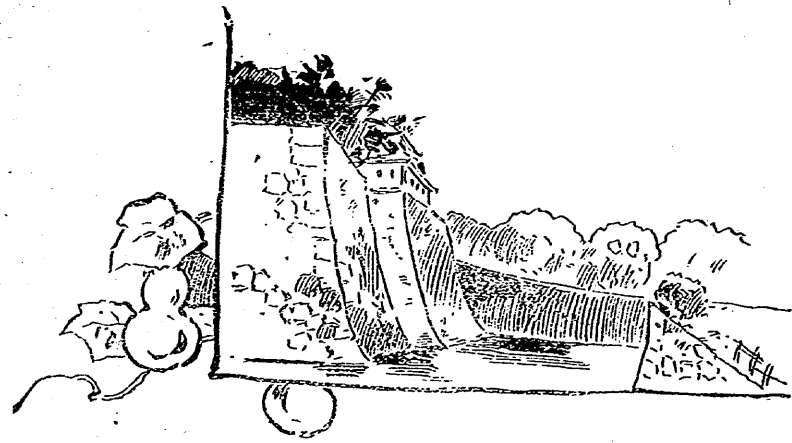
弑せられぬと打ち聞くや  
忽ち攻めて仇討ちし

四 朝鮮までも兵を出し

我に無禮の明國を  
一舉に恐れしめたるは

五 人つとむれば智者となり

日本歴史の一快事  
人忘れれば愚者となる  
貴賤貧富はわが力  
怠る勿れ努むべし





加藤清正

石原和三郎作歌

一 今も名だかき 賤が岳

七本やりの 第一人

敵をつきふせ つきくづし

いきほひたけき 鬼加藤

二 朝鮮國に せめ入りて、

虎をもひしぐ いきほひに、

名もたくましき 鬼上官

泣く子もこゑを 止めたり

三 しかも加藤は 智仁勇

とりこにしたる 二王子を

あつくなぐさめ いたはりて

武士のなさを 現はしぬ

四 時は伏見の 大地震

石田、小西の 讒言に、

かかりし雲も はれてけり

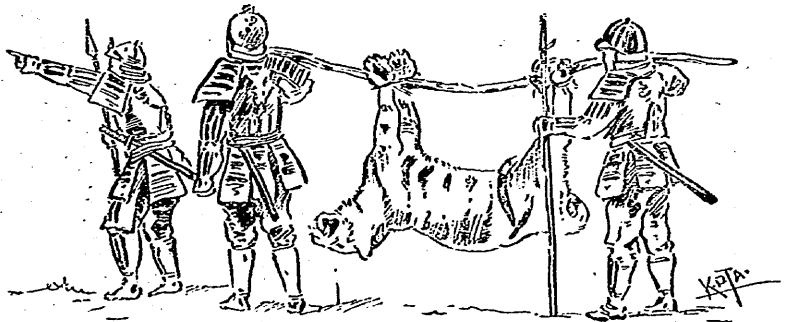
豊太閤の うたがひも

五 かくて秀吉 なき後も、

豊臣氏の ゆくすゑを

我が身にかへて 守りけり

おもへば武士のかがみかな



《上杉鷹山公》

〜調四分ノ四拍子

中等に

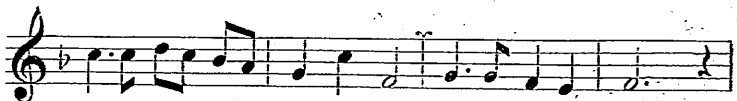
編者作曲



5̣. 5̣ 1 1 | 2 1 7̣ 6̣ 5̣ 5̣ | 1. 1 2 2 | 3- 0 |

一、セ イ シ ン ヒ ー ト タ ビ イ ャ リ ナ バ

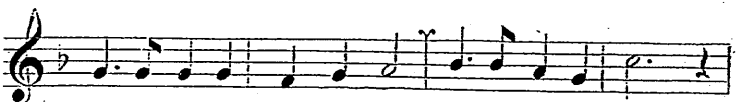
二、ち り も つ も れ ば や ま と な る



5̣. 5̣ 6̣ 5̣ 4 3 | 2 5 1- | 2. 2 1 7̣ | 1- 0 |

イ カ ナ ル コ ト カ ナ ラ ザ ラ ン

さ て わ が い へ を お こ さ ん は

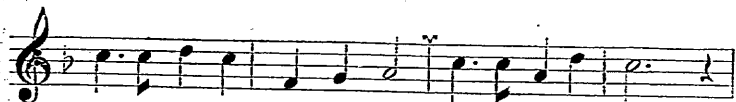


2. 2 2 2 | 1 2 3- | 4. 4 3 2 | 5- 0 |

コ ノ リ ャ フ カ ク ツ キ マ へ テ

せ つ け ん に よ る ほ か な し と

(つゝ)



5̣. 5̣ 6̣ 5̣ | 1 2 3- | 5̣. 5̣ 3 6̣ | 5- 0 |

タ フ レ カ カ リ シ ウ ヘ ス ギ ノ

み は だ い み ー に て わ り な が ら



5̣. 5̣ 1 1 | 2 1 7̣ 6̣ 5̣ 5̣ | 1. 1 2 2 | 3- 0 |

イ ー へ ナ フ タ タ ビ オ コ サ ン ト

し ー く は い ー ち ー じ る い ー さ い に



5̣. 5̣ 6̣ 5̣ 4 3 | 2 5 1- | 2. 2 1 7̣ | 1- 0 |

カ ク ゴ ー ハ ー カ ツ キ ヨ ー ザ ン コ ー

ふ ー く ー は ー も め ん と か ぎ り たり

# 上杉鷹山公

石原和三郎作歌

一 精神一たび 到りなば

いかなることか ならざらん。

この理をふかく わきまへて、

たふれかかりし 上杉の

家を再び おこさんと、

覺悟はかたき 鷹山公。

二 塵もつもれば 山となる、

さて我が家を 興さんは

節儉による 外なしと、

身は大名にて ありながら、

食は一汁 一菜に、

服は木綿と かぎりたり。

三 身には木綿を つけたれど、

心は絹よ、あやにしき、

織りいませよと 領内に、

勧めし蠶業、機業の、

いさをは今も、うるはしき、

米澤織にぞ のこりける。



フランクリン

変は調四分四拍子

快活 =

編者作曲

一、イナヅマヒーラーメクミソラニムカーヒ  
二、5 まれはぼーすとんなはふんくーりん

タコイトノバーシデアグクルヒートーハ  
まづしきいへーにてそだちそーのみ

デンキノバツマイソノコトグテ  
いんさつこーばのしよくこーたりし

セカイニシラールルマイヨノガクシャ  
しんくははなさくたじつにつぼみ

フランクリン

大和田建樹作歌

一 稲妻ひらめく御空に向ひ

風糸のぼして揚げたる人は

電氣の發明その功遂げて

世界に知らるる名譽の學者

三 勤勉たゆまず夜晝倦まず

遂にはみづから事業を起し

印刷新聞みなよく榮え

公益あまねし四方の國に

二 生れはホストン名はフランクリン

貧しき家にて育ちし其身

印刷工場の職工たりし

辛苦は花さく他日の答

四 ああ此天下に知られし人も

はじめは獨立自營の苦學

時間は金なり徒費する勿れ

老後に悔とも其かひあらじ

忍 耐

と調四分ノ四拍子

編者作曲

嚴カニ



5-5 5 3 1- 1- 3 1 6 2 1- 0  
 シノビシハ テノズ ツベヤ コシコ トノハ ナテ ル  
 タオ ヘモ ズ ナコ ロン プ ス



3-3 3 3 2 1- 2-1 7 1- 0  
 ミヨク ユキ キノ タケ ナ  
 ツラク ナ シン サ シン ノ ビ



5-5 5 5 5 3 1- 2-1 2 3 4 5  
 タツム トモ ナレ ス ナ カ  
 ヲシ ミ コ エ テ ア リ ク ナ エ タ テリ



5- 3 1 3 2 1-  
 ナレク スを ナバ カマ ラ  
 ヒリ ク ナ エ タ テリ

忍

耐

桑田春風作歌

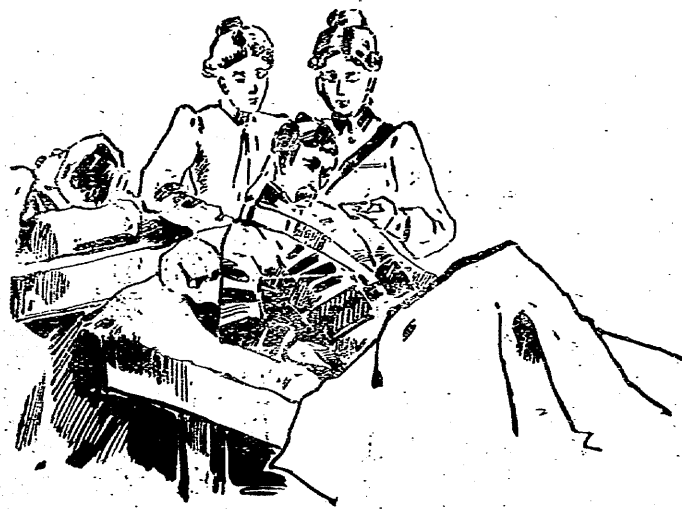
一、しのびてぞ、事は成る、  
 見よ雪の竹を、撓むとも、折れぬ  
 ぬちら。か

二、たへしのべ、忍び待て、  
 つらくとも暫し、雪きゆる、ひ  
 まをばまで。

三、おもはずや、コロンブス、  
 百難をしのび、海こえて、陸を  
 得たり。

四、なにごとも、忍びてぞ、  
 やがて時くれば、こころざし、  
 つひには成る。





ナイチンゲール

石原和三郎作歌

一 砲火のひびき

コレラの流行

傷になやめる

病にふせる

兵士の数は

いく百千人

さながら地獄の

クリミヤ半島

二 いとけなきより

生物あはれみ

二十一

（ナイチンゲール）

と調四分、四拍子

温和 =

編者作曲



5.5 1 1 | 6.6 5 5 | 3.2 1 7 | 1. 1 5-

一、ホークソ ヒビキー コレラノ リーコー  
二、いとけ なきより いきもの わはれみ



6.6 1 1 | 5.5 1 1 | 4.3 2 1 | 7. 1 2-

キーズニ ナヤメル ヤマヒニ フセルー  
まづしき ものや よにたよりなきー



5.5 5 5 | 6.6 5 5 | 4.3 2 1 | 2.3 2-

エイシノ カズハー イクヒツク センニ  
ひーとの やまひを わがみにかへて



3.3 2 1 | 7.7 6 5 | 5.5 3 1 | 2. 5 1-

サナガラ フゴクノ クリミヤ ハントー  
なぐさめ いたはる ないちんげーる

まづしき者や 世にたよりなき、  
人の病を わがみにかへて、  
なぐさめいたはる ナイチングール

三

いかでかこれを よそに見べき、  
三十四人の 同志をひきゐ、  
今や地獄の クリミヤさして、  
おもむきたるは、 佛か神か。

四

ふかき情に やさしき看護、

傷もたちまち 病もいえて、  
兵士はただただ 涙をながし、  
天の使と 拜まぬばかり。

五

今文明の 一大事業、  
赤十字社の その源は  
ナイチングールが 慈悲博愛の、  
胸よりこそは わきいでしなれ。

135.9

112  
592



明治三十八年九月廿四日印刷  
明治三十八年十月一日發行

高等  
小學修身唱歌第一編  
定價金拾錢

不許複製

發行所  
發賣所

編纂者	吉田信太	東京市神田區錦町一丁目十番地
發行者	鈴木種二郎	東京市神田區錦町三丁目八十番屋敷
發行者	鈴木常松	東京市麹町區有樂町三丁目一番地
印刷者	大西鍊三郎	東京市京橋區弓町二十四番地
印刷所	三協合資會社	

修文館  
積善館

東京市神田區錦町二丁目  
大阪市東區安土町四丁目  
廣島市博多中島町  
福岡市博多中島町



